

【事業方針】

1. 新たな経営基盤の確立

東日本大震災被害に加えて、長引く福島原発の放射能漏れ事故の先行きもはっきりしない事態が続く、日本のみならず世界経済へも大きく影を落としています。こうした状況下ですが、当組合は2年越しの課題であった「しんくみ共同センター(SKC)」加盟を5月末に実現しました。これにより組合員の皆様はご近所の金融機関、ゆうちょ銀行、コンビニなどのATMをご利用いただけるようになりました。他行ATMの利用手数料は、普通預金・カードローンの入出金に対して各3回、当信組のお客様の口座にキャッシュバックさせていただきます。さらに、前進し変貌を遂げる毎日新聞社グループにふさわしい形に定款を一部改定し、組合員の増加を図ります。

2. 有利な当組合の定期預金

定期預金利率を6月よりメガバンクのほぼ2倍に引き上げました。新規資金による場合は、更に3倍にした「SKC加盟記念定期」(従前の利率の約6倍)を募集しています。(総額10億円に達した時点で終了) また、これまでは3年定期だけであった退職金定期(+0.5%上乗せ)を、お客様のご希望に合わせ1~5年とし、利率は1年+0.3%、2年+0.4%、3~5年+0.5%とさせていただきました。

3. 住宅ローン利率やカードローン利率の緩和

住宅ローンは4月より10年物の固定金利を▲0.18%下げ1.80%に、20年物は▲0.09%下げて2.55%にと、メガバンクよりもお客様に有利な利率に設定しました。マイカーローンは2.88%と有利な利率を維持いたします。また、カードローンについては外部のATMでもご利用可能となりましたので、新規契約キャンペーンとして6~8月に新規で契約された方のお利息を、契約日から3ヶ月間、▲50%減額する取扱を実施しています。

4. ディスクロージャーの推進

お客様から信頼を勝ち得ていくためには、透明性の高い経営を確保していくことが必要です。信用組合の経営状況をホームページやメール、店内掲示、DMなどを通じ、皆様にお知らせいたします。

5. 法令遵守態勢の整備と人材育成

法令や原則を守る法令遵守は、信用組合の事業運営の基本です。安心してご利用していただける組織作りを従来にも増して進めてまいります。SKC加盟で、従来東京にあった電算、為替部門を大阪本店に移管、業務の効率化を目指します。また、組織の新展開に合わせ、職員の技能向上、意識変革を教育、研修で進め、次代の人材を育成します。